

主人公は、高校3年生の少女の**舞**。
彼女は、幼いころから祖母と母親の3人暮らし。
母親は長い時間働きに出ていましたが、
幼い頃は、家族仲も良好で平和な家庭でした。

しかし、祖母が認知症で要介護状態が進んでいくにつれ、
少女は祖母のケアを担うことになります。
ケアに時間を取られてしまうため、
友人関係や進路でも悩みを抱えることに。

ついにある日、祖母のケアに耐えきれずに、
少女は祖母に手をかけてしまいます。
登場人物Aはこう語る、
『
』。

この少女のような**ヤングケアラー**は、
本当に家庭内だけの問題なのでしょうか――。

家庭と学校、大人と子ども、法律の狭間で揺れ動く「少年たち」に対して、
社会はどう手を差し伸べることが出来るのでしょうか――。
誰か、その『**声**』に気づけますか――？

50回模擬裁判公演における感染症対策について

今回は、感染症対策の目的である「感染者を出さない・感染を拡大させない」ことを達成するためにご来場のお客様に、以下の対策の実施をお願い致します。

【ご来場前に】

公演当日、下記の体調不良をお感じの方は、ご来場をお控え頂きますようお願い致します

▶発熱、咳、呼吸困難、全身の倦怠感、のどの痛み、鼻水・鼻づまり、味覚・嗅覚の異常、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節痛・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐の症状

【当日会場にて】

- ・会場入り口にて検温を実施させて頂きます。37.5℃以上の熱がある方は、入場をお断りし、チケット代金を払い戻しさせて頂きます
- ・会場では常時マスクの着用が必要となります。また、手洗いの徹底と消毒液のご利用をお願い致します
- ・お手洗いにはご自身のハンカチをご持参下さい
- ・お客様同士の間隔を十分に保てるよう、ご協力とご配慮をお願い致します
- ・開場時と休憩時には、入場口や客席扉を開け、換気をさせて頂きます
- ・換気により会場内の冷暖房効果が損なわれる恐れがございますので、お客様ご自身で 体温調整のできる服装でお越し下さいますようお願い致します
- ・感染症対策として、ご来場のお客様へ、有事に限り、保健所等の関係者機関へ情報提供させて頂くことを伝えた上で、連絡先の記入をお願い致します。ご記入頂いた情報は、1ヶ月間保存し、その後破棄します
- ・配布物等に関してはお客様ご自身でお取り頂くようお願いいたします